

殿山第二小だより

令和 4年12月22日 第 27 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子



明日12月23日(金)は2学期終業式です。81日間の授業日数を終えることとなります。その中で、本校創立150周年式典事業を無事に終えることができました。これも、保護者の皆様をはじめ創立150周年記念事業委員長 清水様、顧問 上山様、本年度PTA

会長 坂下様、そして殿二校区コミュニティ会長 松本様方を中心とした殿二校区地域の皆様方やPTA役員・実行委員の皆様方のお力添えがあつてのことと深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、スローガン「殿ニッコリ～世界一幸せで仲間を大切にする学校～」を合言葉に子どもたちと過ごしてきましたが、これからも、どのように考えたらしっかりと築いていけるのか問い続けていくことが大切なことであると思っています。

子どもたちには、自分自身が「やったー!」「嬉しい!」「わかった。」「なるほど!」などなど、日常生活の中で、達成感や充実感を感じる瞬間瞬間をたくさん創ってほしいと願っています。ほんの些細な幸せな瞬間をいっぱい感じてほしいと願っています。このような経験の豊富さが『殿ニッコリ』と心から発せられる言葉だと思うからです。

以前にも紹介したのですが『子どもたちも社会の一員』という冊子の中に、人の“感情”について基本的な8つの概念が記されていました。

誰もが持っている『感情』。その表出の仕方は、人それぞれです。

コロナ禍生活が続く中、自分を素直に表現することや、友だちの思いを読み取ることがマスク越しでは、なかなか難しい場面も多々あります。このことは、子どもたちだけに限ったことではないでしょう。私たち大人も同じように感情の表出の仕方に迷ったり、我慢をしたりと自身の気持ちを上手くコントロールする術を得ることは、なかなか至難の業だといえます。

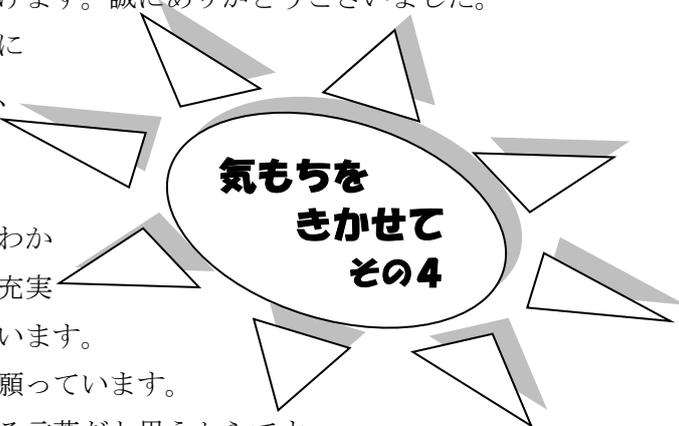
このように人が持っている『感情』という個性を知って、互いに“ことば”と“ことば”を交わしながら理解を深めていく努力が必要なことなのではないでしょうか。

今年度の冬休みは、曜日の関係で17日間といつもより長い休みとなります。クリスマス・お正月と、子どもたちにとっては、楽しみな行事が続きます。プレゼントやお年玉などは、高価なものではなく、気持ちの籠った温かな“言葉”のプレゼントを考えてみることも大事な時代なのではないでしょうか。

ご家庭では、お子さまと一緒に過ごされる機会も多くなると思います。ぜひ、たくさんお話をしていただき、お子さまと共に有意義な冬休みをお過ごしいただきたいと思います。

3学期は、1月10日(火)より始まります。432名の『殿ニッコリ』の子どもたちに出会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様には、今学期も様々にご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。良いお年をお迎えください。



気持ちを
きかせて
その4

『感情』は……

- ① 感情にいいも悪いもない。
- ② 感情をもつことはよいこと。
- ③ 感情は変化する。
- ④ 感情と行動は別のもの。
- ⑤ 感情表現はさまざま。
- ⑥ 感情は出せば穏やかになる。
- ⑦ 感情には段階がある。
- ⑧ 感情は誰もが持っている。